

柚の實（小曲）

東條環

送り來し柚の實なれや

ふくいくと冬を匂ひて

ふるさとの影をひそめり

懐かしの母が乳房よ

慕はしの君が面輪よ

想出は 柚に浮びて

齒を入れしたまゆらむねに

ほろほろと思慕のひろごり

淡き日は 柚に暮れ行く。

「山桜」昭和九年十月号

（詩）